



発行日：2011年8月31日
発行者：船場地区HOPEゾーン協議会
編集長：藤原久恵(協議会理事)



1 船場のHOPEゾーン事業について

大阪市と一緒に、船場らしさを活かしたまちなみづくりに取り組むこと、早や3年。芝川ビルや生駒ビルディングなど、これぞ船場!!な建物たちの修景事例も増えました。第4回の総会を終え、気持ちも新たに4年目の活動がスタートします!というわけで...ここで一度、復習しましょう。“HOPEゾーン事業って?何?”なんて言わないで!

1 HOPE^(※1)ゾーン事業って・・・?

大阪시가『住みたい・住み続けたいまちづくり』をめざし、まちの個性をより輝かせるため、地域と協力してまちなみづくりに取り組んでいる事業です。船場を含め市内6地区^(※2)で、魅力的な建物の修景^(※3)への補助や、地域のまちづくり活動の支援といった取組みが行われています。

※1...HOPE 「HOPE」は、'HOusing with Proper Environment=地域固有の環境・特性を活かした居住づくり'の略。また、'希望'という意味もこめられているとか。

※2...6地区 HOPEゾーン事業展開中の地区は、平野郷・住吉大社周辺・空堀・船場・天満・田辺。

※3...修景 建物の外観やオープンスペースの通りから見るところを、地区ごとに定められたまちなみガイドラインに沿ったかたちに整えること。

2 船場地区ってこんなところ

大阪城に通じる東西方向の「通」と南北方向の「筋」で構成され、葉の道修町や金融の北浜といった特徴ある両側町(通りをはさんだ両側で一つの「町」を形成)、戦災をまぬかれた近代建築や伝統的な町家などの資源があふれています。また、地域が主体となったまちづくり活動が盛んで、「働く」だけでなく、「暮らす」、「遊ぶ」まちとして、その魅力が再認識されてきています。

3 船場地区での取組み

協議会(平成20年8月設立)を中心に、『近代・近世の佇まいが光る花なりとしたまちなみづくり ~上質な船場の「いま」を愉しむために~』をテーマに、まちなみづくりを進めてきました。具体的に、船場の魅力的な建物の再生・活用の考え方や修景のポイントなどを提案する「まちなみガイドライン『船場のまちなみ作法』」をとりまとめ、各部会(近代建築等・道修町・三休橋筋)で、より魅力的なまちなみづくりに取り組んでいます。また、協議会では、より多くの方に船場のまちなみを知っていただくためのイベントを毎年11月に開催しています。



4 まちなみ修景

平成21年から補助制度が開始、平成22年度末までに6件の修景が完成しています。建物に磨きをかけ「いま」の船場を愉める魅力的なものばかり。裏面のエリア図を参考に、修景建物を巡りながら、船場を愉しんでみてください。



A 芝川ビル B 生駒ビルディング C 旧小西家住宅 東駐車場 D 北浜レトロビルディング E 旧小西家住宅 蔵3棟 F 青山ビル

HOPEゾーン事業の詳細や補助制度の具体的な内容については、**大阪市 都市整備局 企画部 住宅政策課(まちづくり事業企画)**
Tel. 06-6208-9221・9222 e-mail. ka0001@city.osaka.lg.jp までお問合せください

今年度から実施 協議会交付金制度

平成23年度から、広報や修景普及といったHOPEゾーン事業を推進する活動については、市からの交付金により実施する制度がスタートしました。今年度は、協議会ニュースでの広報活動、修景建物の見学会、意向調査などを行います。イベントやまちなみ資源調査といった独自の活動については、引き続き会費や寄付、大阪市補助金を活用します。

まちなみガイドライン 「船場のまちなみ作法」 入手方法

1 協議会ホームページよりダウンロードできます。

▶ semba-hope.main.jp



2 下記の配布場所でお渡しできます。

※数に限りがありますので、お早めにお越しください。

【配布場所】

- 少彦名神社 中央区道修町2-1-8
- 大阪市都市整備局企画部 住宅政策課(まちづくり事業企画)

ご存知ですか? 修景工事中の看板

協議会では、まちなみ修景補助制度を活用して工事を行う方に、工事中、通りから良く見える場所へ修景をPRする看板を設置いただいています。少しでも多くの方に足を止めていただき、船場のまちなみづくりの取組みを知り、ご興味を持っていただければと思います。



ええもん発見!! **13**

淡路町二丁目 **船場ビルディング** せんばビルディング 淡路町2-5-8



何気なく覗くとそこは異空間、思わず一歩踏み込むと外界より、明らかに2~3度は、涼しい風が心地よく頬をなでる。大正時代から中央区淡路町に佇む、ことさらに存在を主張すること無く、でも確かな存在感を持つ建物が船場ビルディングだ。かつては荷馬車が入り出し、雪国の薬売りが寝泊まりしたという、そんな時代の面影を感じつつ、今では若い建築家やデザイナーが多く入居し、夢を膨らませるオフィスビル。一度覗いてみては…

ええもん発見!! **14**

瓦町二丁目 **江戸菊** えどぎく 瓦町2-4-12



古典菊として知られる『江戸菊』これがこの店の名前の由来です。東京の江戸とは関係なく、大正3年(1914年)より関西料理と大阪スタイルのすきやき、瀬戸内の魚すきをメインに営業され、船場の旦那衆のお腹を満足させて来ました。とくに川柳番傘の岸本水府に愛され水府作の看板『肉と魚』が玄関を飾っています。季節を大事にし吟味された素材を使った関西料理と伝統の大阪すきやき、魚すきは失われつつ有る大阪船場の食文化を感じさせるでしょう。

▶ 次号からは、地域の皆さん、会員の皆さんのご推薦からピックアップしてご紹介していきます。お近くの役員又はメール info@semba-hope.main.jp にご意見をお寄せください。

会員募集中

「船場」ならではの魅力を活かしたまちなみづくりをめざして、一緒に活動しませんか?

いま、賛助会員(新規・継続)のお申込をいただくと「船場老舗案内はんかちーふ」を1枚プレゼントしています。数に限りがありますので、お早めに。

船場地区HOPEゾーン協議会では、具体的なまちなみづくり活動を進めていく上で、参加・協力・支援いただける仲間を募集しています。登録会員(登録料無料)もしくは、賛助会員(年会費必要)に登録いただいた方には、協議会の活動情報をお届けします。船場のまちなみづくり・まちづくりに興味がある!という方、ぜひ、ご登録ください。

※詳細につきましては、お近くの役員または協議会ホームページ semba-hope.main.jp をご覧下さい

船場地区HOPEゾーン協議会 **第4回総会**

平成23年5月30日(月) ひらのまちギャラリーにて開催

総会も今回で4回目。来賓の方々も含め、約50人のご出席をいただきました。まず始めに、平成22年度にまちなみ修景を行った建物オーナーの方々に感謝状を贈呈し、まちなみづくりへの思いなど、一言ずついただきました。戦前に建てられた建物を維持するのは大変なことですが、1件1件のオーナー様の思いで船場のまちなみの魅力が増していくことを改めて感じました。



議事の平成22年度の活動及び決算報告、平成23年度の活動及び予算案について、承認されました。ご出席いただいた方、ありがとうございました。総会の資料は、協議会ホームページからご確認いただけます。

▶ semba-hope.main.jp

Pick Up 今年もやります!! **船場博覧会2011**

平成23年11月21日(月)~25日(金)

今年は、まちのcommons実行委員会(委員長:池田吉孝)をはじめ、船場で活躍するみなさんとタイアップ。期間も5日間に拡大し、船場の魅力をたっぷりと感じていただけること間違いなし!メイン会場のひらのまちギャラリーでの展示のテーマは「船場の木造建築」。船場はビルのみちといったイメージですが、大事に守られてきた木造の建物の魅力をお伝えします。前回に引き続き、船場の魅力的な建物巡りなど、様々な企画でみなさまをお迎えします。イベントの詳細内容については、10月頃にお知らせする予定です。

編集後記

東日本大震災の犠牲となられた方々にお悔み申し上げますと共に、被災されました方々に心よりお見舞申し上げます。節電の中、秋が待ち遠しく感じられます。協議会PRグッズ「船場老舗案内はんかちーふ」は、現在も活躍を続ける老舗を散りばめたシックなデザインのすぐれものです。暑い中、そっと出される時「花なり(はんなり)」が光ると思われ。活動賛助金として会費・寄付をいただいた方にお渡ししています。赤と紺どちらもおすすめです。是非、お手にしてください。皆様方のお陰で当ニュースも8号となりました。次回からのええもん発見!!には、皆様のご意見を頂戴したいと思いますので、お願いいたします。(編集長 藤原)

船場地区HOPEゾーン事業対象エリア

[約126ha] ①~⑭ ええもん発見!! A~F まちなみ修景建物

